

辰野町 議会だより



～待ちわびた春の訪れ～

第45号
平成24年(2012年)
5月1日



神戸水仙まつり

3月定例会

- 予算・条例・陳情審査から
..... P 2～6
- 常任委員会活動報告..... P 7
- 研修会報告..... P 8



辰野西小入学式

委員会活動から

総務産業常任委員会

- 予算審査
- 条例審査
- 陳情審査



● 予算審査

一般会計

歳入

○一般会計予算の歳入金額は、個人町民税を中心に前年度対比大幅な減少と考え、対前年度当初比1億6千万円減の75億5千5百万円となっております。

○地方特例交付金は、児童手当・こども手当特例交付金が制度改正により無くなった事、又自動車取得税交付金減収の一部補てん分の交付金が町民税増額分に振り替えられるため、住宅借入金など特別税額控除による減収補てん分のみの収入との説明です。

○体育施設使用料の収入減額に対する質問では、利用者の減少や、テニスコートが湯にいくセンターの管理になったためであるとの説明です。

○教育費国庫補助金8,100万円の減は、東小学校大規模改修と耐震補強工事が終了した事によるもの

です。

○ホテル保護育成基金繰入金は、ほたる童謡公園旧1号水路改修に伴う繰入です。

○町が借り入れる起債について、利率など有利な借入を行っているかとの質問に対し、町内3金融機関から見積りを取って対応している、との説明。又余剰をどの程度見込んでいるかの質問には、予算上は4%以内としているが現状は1%以内であるとの説明です。

歳出

■ 議会費について

前年度と比較し、議員共済年金負担金の減が主要因で10%減となっています。

■ 総務費について

王城山荘の解体撤去工事を1,000万円見込んでいます。

防災事業費の消耗品費は、災害用備蓄品の更新及び使い捨てトイレ購入を見込んでいます。

■ 衛生費について

水道費の主なものは上水

道事業会計、各簡易水道会計への起債償還負担金、繰出金です。

■ 農林水産業費について

農業振興事業は、アメリカシロヒトリ駆除消毒機1台購入、及び農業者個別保障制度推進事務費交付金などが主なものです。

林業事業報償費は、有害鳥獣捕獲報償金です。

■ 商工費について

観光事業の情報発信ラジオ番組放送制作事業委託として、国からの100%補助により毎週月曜日にFMラジオにて放送されています。

■ 土木費について

住宅リフォーム補助金は500万円です。

除雪及び融雪剤散布の委託料は870万円です。

■ 消防費について

備品購入費として第7分団・第8分団の消防ポンプ自動車更新費として3,900万円です。

■ 公債費について

公債費は対前年度当初比6,000万円程の減額で、

要因は平成13年度に借り入れた地域情報通信基盤・し

だれ栗パークライン整備・ほたる童謡公園整備の終了によるものです。

■ 予備費について

23年度同額の3,000万円です。

以上一般会計予算は委員全員一致で可決し、本会議に於いても委員長報告のとおり可決されました。

特別会計

■ 上水道事業会計

湯舟PC配水池更新工事、水道ビジョン策定業務委託による10年先を見据えた将来構想策定検討委員会を立ち上げるための委託料との事です。

■ 簡易水道会計

従来どおり安定した良質の水道水の供給に努めていくとの事です

■ 小野簡易水道会計

藤沢地区水源探索のため、長野県水源開発支援補助金300万円及び町繰入金を見込み、探查委託を行うとの事です。

■ 公共下水道会計

公共管路台帳システム化

委託料などが盛り込まれて
います。

■特定環境保全公共下水道
会計

公共下水道と同様の公共
管路台帳システム化委託料
が盛り込まれています。

■農業集落排水処理施設
会計

今後とも適正な維持管理
に努めていくとの事です。

■地域情報告知システム
会計

告知システムの使用料は
1カ月500万円の賃借料
です。

以上、7特別会計予算は
全員一致で可決し、本会議
に於いても委員長報告のと
おり可決されました。

●要望書

長野県地方税滞納整理機構
への職員派遣について

日本の厳しい経済情勢下、
辰野町の税収は大幅な減少
が予想される。健全財政の
確保、公平性の確保からも
徴収努力が強く望まれる。
長野県地方税滞納整理機
構のノウハウを辰野町の徴

収に活かすよう、機構へ職員
を派遣する事を要望します。

●町長回答

この滞納整理機構に限ら
ず、国、県等の機関に職員
を派遣することは人材育
成・スキル習得に有益であ
ると認識している。

今までも県などへ職員の
派遣を続けてきた経緯もあ
るが、団塊の世代の退職者
が多い時期を迎えており、
若手中堅職員は新規採用職
員の指導にもあたらねばな
らない状況にある。

職員採用も抑制してお
り、人員に余裕が無いのが
実情ではあるが、平成24年
度は厚生労働省に1名派遣
することとした。

長野県地方税滞納整理機
構は、県から3名、市から
11名、町村から3名の徴収
経験者で構成しており、2
年間の派遣期間で対応して
いる。

今後機構の人事のロー
テーションのなかで辰野町
にも派遣要請があると思う
のでその際対応していきたい。

消防署職員の予防接種につ
いて

冬期はインフルエンザが
猛威を振り、町民の生活を
脅かす時期でもあります。

消防署職員は昼夜を問わ
ず町民の安心・安全な日常
生活の確保に向け務めてい
るが、インフルエンザの集
団感染に見舞われれば町民
の安全も担保されない。急
を要する消防署職員の健康
管理のため全職員に予防接
種を求め、その接種費用は
公費負担とするよう要望し
ます。

●町長回答

予防接種費用の公費負担
については、業務上感染症
対策として、消防職員はB
型肝炎の検査を実施し、肝
炎ワクチンの接種代は公費
負担としている。

インフルエンザの予防接
種については病院職員も
対象に1/2にあたる1、
500円を公費負担として
いる。伊那消防組合各署と
も足並みを揃えるなかで検
討していきたい。

●現場視察

- 湯舟PC配水池更新事業
- 庁舎受電設備改修事業
- 社会資本整備総合交付金事業（新屋敷線）
- 鴻ノ田辺地道路整備事業



新屋敷線視察

以上4箇所の視察を行
いました。

●条例審査

●水道の布設工事監督者の
配置基準及び資格基準並
びに水道技術管理者の資
格基準に関する条例の制
定について

水道法の一部が改正さ
れ、①水道の布設工事監督
者を配置する対象工事②水
道の布設工事監督者の資格
基準③水道技術管理者の資

格基準について条例を制定
するとしたものです。

●税条例の一部を改正する
条例について

経済社会の構造の変化に
対応した税制の構造を図る
ための地方税法の一部及び
東日本大震災からの復興に
関し、地方自治体が実施する
防災のための施策に必要な
財源の確保に係る、臨時特例
に関する法律が施行された
ことにより、条例の一部を改
正するものであります。

それぞれの条例について
委員からは特段問題なしと
し、委員全員一致で可決と
しました。

●陳情審査

- ①「国土交通省告示第15号
の履行に関する陳情書」
- ②「最低制限価格の設定に
関する陳情書」

陳情者
 社団法人
 長野県建築士事務所協会
 会長 新井典夫
 社団法人
 長野県建築士事務所協会
 上伊那支部長 宮下覚一

① この陳情は、公共建築物の設計・工事監督業務について、告示1206号規定の「依頼度」が告示15号により削除された事を受け、自治体の積算要領に於いても「依頼度」の削除を求めるとしたものです。担当のまちづくり政策課から意見を求めたところ辰野町役場には1級建築士がいないため、当町には該当しない、又町内建築士からこの種の陳情は無いといった説明です。

② この陳情は、公共建築物の設計・工事監理業務等を入札により発注する場合は、最低制限価格を発注予定額の85%程度に設定する事を求めるとしたものです。辰野町は事前に見積書を複数者から徴取しており、現行制度で何ら問題が生じていないとの説明です。両陳情について委員からは、陳情の趣旨は理解できるとし、全員一致でそれぞれ趣旨採択としました。

委員会活動から

福祉教育常任委員会

- 予算審査
- 条例審査
- 陳情審査



● 予算審査

一般会計

■ 民生費

福祉タクシーの利用率が28%と低いのは、との質問に対し、平成19年の32%を最高に、年々減少傾向とのことです。一枚700円のタクシー券のため長距離の人は、自己負担が多くなり敬遠しがちで利用率が上がらないのかもしれない、との説明です。

老人福祉事務費の建設負担金の内容に対する質問に、みのわ園26年、越百園30年、南箕輪特別養護老人ホーム31年まで、かたくりの里、養護老人ホームみすず寮が32年まで続くとの説明です。

老人保護措置事業費の扶助費の質問に対し、町外の養護老人ホーム（岡谷・箕輪・南箕輪・伊那市）への20名分の入所措置費4,400万円は今年も、さらに1名増加との事です。

■ 衛生費

保健衛生予防事業の委託料の減額についての質問に対し、インフルエンザ予防接種は平成23年度の、ワクチンの供給が不安定であったこともあって接種率が低下したこと、また、子宮頸がんワクチン接種、肺炎球菌、ヒブワクチン接種の対象者が年々絞り込まれて来ているため、需用がかなり算減の原因とのことです。

環境衛生事業で太陽光発電システム設置の補助金は50基を予定し、追加補正も視野に考えているとの事です。

訪問介護ステーション事業の黒字化への質問に対し、現在正規看護師2名、臨時3名で4台の車を使用し実施しているが、正規看護師では厳しいとの事です。

病院新築移転後は部屋も今までの倍以上の約83㎡になり、医療、福祉の連携を強調し今後期待される部分でもあり、職員の配置転換など考慮し黒字化を目ざしたいとの事です。

■ 教育費

教育委員会事務のスクールバス運行管理委託料の内容についての質問に対して、1ヶ月30万4500円の12ヶ月分、生ゴミ処理委託料は町内小中学校保育園より出る生ゴミで、1ヶ月26万6700円の12ヶ月分の予算です。

工事請負費は中学校の体育館コートデザイン変更に伴う工事、西小学校の放送施設とプール濾過器の改修工事です。

教育振興の教材費は小学校1,050名、中学校546名の1人当たり1,100円の扶助費との事です。



特別会計

国民健康保険会計

国民健康保険は、実質収



川島小学校体育館視察

辰野中学の大規模改造事業はトイレ改修と下水道接続工事で24・25年度の継続事業で実施されます。

図書館費については本年度、開館90周年を迎える記念事業費との事です。

文化財保護事業の工事請負費は、県宝の旧小野家住宅修繕工事、埋蔵文化財発掘事業の工事請負費は作業場を辰野駅2階から旧新町保育園移転のための工事費との説明でした。

以上一般会計予算は委員全員一致で可決し、本会議に於いても委員長報告のとおり可決されました。

支は赤字が拡大の一途であり、一般会計からの法定外繰入れに頼らざるを得ず、個人の所得の減少により保険料徴収額も伸びず一層の公費負担を望みたいところです。

加入者は3月末3,249世帯、人数で一般5,065名、退職者が656名合計5,721名となっています。又一般被保険者療養給付金は前年と同額、一搬保険者高額療養費は前年実績よりやや増額を計上したとの事です。いずれにしても厳しい状態であると報告です。

診療所会計

昨年より第一診療所と川島診療所の会計が統合されました。業務は共に町内の開業医と臨時の看護師により診療を行っています。予算収支は、前年とほぼ同額となつています。又、両診療所ともに経費節減に努めているが、患者数も増えず今後の課題となるだろうとの意見が出されました。

後期高齢者医療会計

平成20年から始まった事業で、75才以上の方から徴

収する保険料収入がほとんどであり、24年度加入予想人数は3,467人で、まだまだ増えて行くようです。前年より1,900万円余の増収を見込んでいるとの事です。

辰野総合病院事業会計

平成24年1月から整形外科常勤医師1名が着任しましたが、常勤医師確保は困難な実態にあり病院経営も多少の好転が見えるものの、依然厳しい状況が続いています。

新病院建設や現在の病院跡地の精算や資金確保の問題もありますが、引き続き経営改善に努めます。また伊那中央病院や諏訪日赤との連携を図り患者確保に努めると言った説明です。

人間ドックを辰野病院で積極的に取り組むなど、移転を契機としてさらに町民に親しまれ望まれる病院をとの意見が出されました。

介護老人保健施設(福寿苑) 会計

福寿苑は開設以来20年を迎え、昨年は4床を増床し入所定員54名としました。

又辰野病院移転新築に伴う「福寿苑」の今後の方向も定まりましたので、給食施設を作り、名実共に自主運営となり、今後一層健全財政を堅持し、利用者の尊厳と安全に配慮しながら生活機能の維持向上を旨としたとの説明です。

介護保険会計

介護が必要になった時に介護サービスを利用する制度で給付費は毎年増加を続けている実態にあります。

内容は、総事業費のうち10%を利用者が負担し、残りの標準総給付費(総事業費の90%)の50%を公費(国県町)が負担し、後の50%を40才以上の方の保険料で運営しております。

3月で更新認定者600人新規認定者200人位とこのことで、今後さらに増加傾向が続くと予測されます。以上、6特別会計予算は賛成多数で可決しました。本会議においては、介護保険特別会計において、反対、賛成の討論があり、賛成多数により可決されました。

要望書



福寿苑給食室視察

町立辰野病院跡地・建物の事後処理について

移転新築、平成24年7月完成10月開院予定の新病院移転後の病院跡地や、建物の有効利用について提案致します。契約では原状回復し返還するとなっておりますが地主との話し合いにもよるが1、原状回復返還。2、町で購入し企業誘致を図る。3、西病棟は町関連施設として活用する。以上について速やかに検討されるよう要望します。

町長答弁

現時点では具体的論議に入っていないが、新病院完

成移転後には速やかに対応を論議していきたい。

現場視察

- 1、川島小学校
耐震補強事業(体育館)
- 2、辰野中学校大規模改造事業(トイレ)
- 3、福寿苑厨房新設工事
(配膳室)
- 4、辰野病院移転新築現場



辰野中学校視察

条例審査

辰野町介護保険条例の一部を改正する条例

この議案の主な改正点は65才以上の第1号保険者保険料を月額基準額の29%引き上げ、現行3,400円から4,390円とする。

また現行8段階になっている所得段階を9段階に区分を広げるものです。

賛成多数で可決しました。本会議においては、反対、賛成の討論があり、賛成多数により可決されました。

町立辰野総合病院設置等に関する条例の一部を改正する条例について

この議案は辰野病院の国保病院としての位置付けの明確化、地方公営企業法等の一部改正に伴い利益処分、資本金処分、資本剰余金処分の明確化について改正したいもので何ら問題なしとして、委員全員一致で可決しました。

陳情審査

「子ども・子育て新システムの導入に反対し現行保育制度の拡充を求める意見書の提出を求める陳情」

陳情者
長野県保育問題連絡協議会
代表者副会長 宮田克思

委員全員一致で可決し本会議にて採択され、議員発議で意見書を提出しました。

意見書

子ども、子育て新システムによる保育制度改革に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書

(要望事項抜粋)

国及び国会におかれましては、子どもの権利を最優先に地方自治体の実情を踏まえ、国と地方自治体の責任のもとに保育制度の拡充を図られるよう以下の事項について強く要望します。

- 1、新システムに基づく保育制度改革でなく児童福祉法第2条、24条に基づく現行保育制度を堅持拡充する。
- 2、各地の保育や幼児教育に混乱をもたらしかねない新システム案等は撤回すること。
- 3、都市部等、待機児童問題を抱える自治体にたいしては実行性ある取り組みが出来るよう、国が必要な支援と財政措置を行うこと。
- 4、保育所、幼稚園、学童保育及び子育て支援関連予算を大幅に増やし子育てに関する経済的負担の軽減を図ること。
- 5、保育所の基準は国の責任において、これを維持改善すること。
- 6、幼保一体化など保育幼児教育の制度再編にあたっては、地方自治体や保育、幼児教育関係団体、保護者等から十分な意見聴取を行い慎重な再検討を行うこと。
- 7、職場内保育所の設置・拡充と、国からの助成を厚くすること。

意見書

今3月議会で審議された介護保険特別会計予算や、辰野町介護保険条例の一部を改正する条例を受けて国へ議員発議で意見書を提出しました。

介護保険制度の改善を求める意見書
平成24年度から始まる介護保険第5次計画が策定され介護保険料については、大幅な引き上げが実施されるようとしています。
引き上げ率平均30%以上とされており、高齢者の生活を直撃するものとなっています。介護保険発足時から心配されていたとおり、現状の制度では特別養護老人ホームなどの施設入所者など、介護保険給付が増えれば増えるほど、自動的に保険料が引き上がる仕組みになっており、現状のままの制度では高齢者にとっても、自治体にとっても運営が立ち行かない事が明白となってきました。誰もが安心して利用できる制度にするため国の負担割合を増やしていく以外にありません。また、介護労働者の労働条件が厳しいことなど、待遇改善は緊急の課題であります。よって国においては介護保険の危機的状況を改善し円滑な運営を図るため、次の事項の措置を講じられるよう強く要望します。

- 1、介護保険への国庫負担を増やして介護保険料の負担軽減を図ること。
- 2、介護労働者の待遇を改善すること。

常任委員会活動報告

総務産業常任委員会

JA上伊那理事との

懇談会

2月16日にJA上伊那辰野地区の理事の皆様と懇談会を行いました。懇談会の前に伊那市の「みはらしファーム」を視察研修しました。ここは体験型農業公園で、農業体験と観光を上手にコラボした成功事例の一つと言える施設です。真冬の2月と言えども、イチゴ狩りのできるハウス内は、春の暖かさがあり、観光バスで訪れた若い女性で賑わっていました。

役場に戻つての懇談会では、TPP問題・戸別所得補償制度・農業担い手育成・農産物加工所（6次産業）と、多岐にわたつて意見交換をしました。耕作放棄地の減少を担っている営農組合は、町内5カ所にありますが一つにまとめることを検討しているようです。今後農業の担い手が減少する

ことが予測される中で、営農組合の役割は益々重要になって来るでしょう。ライスセンターなど米穀施設は、ほとんどが建設後30年を経過するため、品質保持に支障が出始めており、こ

こで国の補助金を得て設備を更新する計画があるようです。優良な上伊那米を維持管理するためにも必要とのことです。

今回は4月後半に商工会の工業関係の皆様との懇談会を計画しました。できればテーマを絞つて充実した懇談会になるようにと考えております。

福祉教育常任委員会

教育委員会との懇談会

1月24日教育長、教育次長を迎え12月議会で議案取り下げとなった学校給食の民間委託に対する経緯とその後への対応について懇談会を実施しました。説明では、学校給食検討委員会で十分

な検討を行い、学校毎に説明し理解を得たものと思つていましたが、月日が経過してしまい、その認識が薄れてきてしまつたとの見解でありました。その間も人件費の削減に向けて、臨時職員化を進めるなかで、土台が出来たので、今回民間委託を推進する計画となつたことでした。献立や材料

調達には町の栄養士が行うため質の低下も無く、従来とおりであり、調理のみの委託のために偽装請負にならないとの回答でした。小規模学校は効果が無いとの見解ですが、切り替えに

関しては今後十分な話し合いを行い、保護者に理解して頂き、信頼回復に努める事を要望しました。

辰野病院と福寿苑に

関する懇談会

2月16日、辰野病院事務長、保健福祉課長、福寿苑事務長を迎え福寿苑に関する今後の運営体制についての懇談会を実施しました。第5期介護保険事業計画に基づき上伊那広域連合枠を

活用して、福寿苑の特別養護老人ホームが決定したいきさつの説明を以下のとおり受けました。

△広域型特別養護老人ホームとして100床+短期20床で塩尻市の平成会が北大出地区に新規設立
△「福寿苑」の名称はそのまま残り、平成26年度開業を計画。

△辰野病院新築移転後の間の給食は、委託にて調理冷凍で対処

△1年6ヶ月間の医師確保については、現在折衝中とのことでした。

特別養護老人ホームになることにより現在の待機者は137名中約80名改善される予測であり、現入所者は優先されるとの事です。又職員の処遇については本人の意思を尊重し、平成会での採用も依頼しています。

要望事項として、建物の今後の活用方法、通所リハビリの対応、及び情報の公開方法(福寿苑だより等)の検討を依頼しました。

辰野病院運営状況については業績の改善が図られて

おり、1月より整形外科医着任により7名体制となり、さらに増収が見込まれるとの事です。

10月新病院開院に向けて工事は順調に進捗していますが、医師不足は深刻な問題で懸命に探しているのが現状です、今後病院利用率の向上、通院交通の確保などの検討を進める考えを聞きました。

要望事項として特定健診、人間ドックの実施、ジェネリック医薬品の積極的採用と同時に、開院しながらの移動のため、移動の際患者に問題が発生しない様、綿密な計画を立て関係部門との連携を十分とるよう、要望しました。



第2回 議会報告会

お越し下さい

町議会の活動状況、予算などの審査に関する報告と、町民の皆さんとの意見交換の場として、第2回議会報告会を下記のとおり開催します。

議会報告だけでなく町民の皆さんとの意見交換の場ともなりますので、議会に対するご意見ご要望や町政に対するご要望などお聞かせください。どなたでも参加いただけます。お気軽にお出かけください。

日 時 平成24年5月26日（土曜日）
午前10時から11時30分（終了予定）

場 所 役場 2階 第6会議室

議会研修会報告

〈地方自治政策課題研修会〉

長野県議会主催の研修会が平成24年1月17日に行われ、5人の議員が出席しました。今回の東日本大震災を教訓にして災害の実態と対応及び予防に関する認識を高める目的で参加しました。一部では「栄村における震災対応について」と題して島田村長より生々しい実態報告を受けました。復旧に対する予算が当初に比べて3.7倍と莫大になった事、初期対応の難しさとその重要性、防災意識の高揚と訓練、耐震診断などの必要性に触れられ、広域での応援体制と、不自由な仮設住宅への援助に感謝の言葉が述べられました。二部では「被害記録を教訓とした災害対策」について新潟大学卜部准教授から講演があり①防災から減災、②被害を想定して死者0を目指す③過去の被害記録を生かす。災害を知らないで防げないため予測行動が必要であり、その訓練の重要性を

説かれました。一旦被災すると被害者対応の莫大な業務が発生するため、広域による行政、警察、消防、自衛隊、医療などの連携が重要とのことで、放射能被害も含めた防災計画の見直しを痛感し、有意義な研修会となりました。

〈地域医療をともに考えるシンポジウム〉

上伊那地域医療包括協議会主催によるシンポジウムが平成24年1月29日伊那市にて開催されました。

「地域医療再生のための処方箋」と題し伊関友伸氏による基調講演のあと7人のパネリストによるディスカッションが行なわれました。

地域医療をとりまく環境は、医師・看護師不足など既に周知のとおりだが、そうしたなかで如何にして質を低下させず医療を維持するか、様々な視点から分析し、方策を検討するといった講演内容でした。

パネルディスカッションでは身近な地域医療の実情・意見がパネリストによ

り語られ、辰野病院のもつ課題と重ね合わせることでできました。

医師が患者を診る時、病気を治そう、苦しみを軽減しようとする治療を行なう、その時患者も又治そうと努力しなければ医療は成り立たない。現在36時間48時間連続勤務となってしまう過酷な医師の現場は幾つもある。地元のかかりつけの医者さんと同様、医師と患者の信頼関係が最も重要である。わが町の病院はわが手で支える位の意識が必要ではないかと改めて考える機会となりました。

辰野町選挙管理委員会委員及び補充員の選出

任期満了に伴い地方自治法の規定により、議会での選挙により8名を選出しました。

委員

田中正規氏 西村建亜喜氏
吉江信介氏 高木正典氏

補充員

赤羽勝利氏 井内正明氏
瀬戸伸二氏 加島範久氏

任期平成24年4月22日～

28年4月21日の4年間